

## 第 65 回青森・岩手県境不法投棄現場の原状回復対策協議会の開催結果について（概要）

以下の事項について協議を行い、概ね原案どおり了承された。

### 1 事業の進捗状況について

- ・ A地区、J地区に大型集水井を設置し、8月から揚水を実施。
- ・ D地区の大型集水井は12月に完成予定。
- ・ AB地区の高濃度汚染について土壌調査を行い、汚染範囲について掘削除去中。
- ・ AB地区のジオキサン対策を重点的に進めるため、D地区（南側）、J地区（北側）の集水井・貯水池は来年度以降施工。

### 2 1,4 ジオキサン対策について

- ・ 場内地下水の一部から1,4ジオキサンが検出されたため、浄化を実施中。
- ・ 前回協議会以降、A地区、J地区の大型集水井を設置、AB地区境界部の高濃度土壌の掘削除去、北調整池に井戸を設置する等対策を強化。
- ・ 地下水調査において、10月は43井戸中15井戸で基準超過しており、最大値はB地区ヨ-2の2.8mg/L（基準の56倍）。
- ・ 地区ごとにおける濃度推移では、A地区、B地区で高濃度が継続しているが、D地区及びJ地区は、低下傾向。
- ・ AB地区境界部の井戸で高濃度が継続していたことから、土壌調査を実施したところ、砂層を中心に高濃度汚染が確認されたことから、掘削除去を実施しており、11月中に完了予定。
- ・ 洗出処理に関しては、平成25年度から平成27年9月まで1,4ジオキサンの除去量は月平均505gであり、順調に除去が進捗。
- ・ 水処理施設の運転状況は、おおむね安定して稼働しているが、8月及び9月に硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が基準超過。汚染土壌対策技術検討委員会で意見を聞いて対応を検討。
- ・ 今後の対応については、D地区において大型集水井の設置（12月完成予定）、AB地区境界部において高濃度土壌の掘削除去（11月完了予定）を行うほか、さらに必要な対策を汚染土壌対策技術検討委員会の助言を得ながら検討。

### 3 N地区汚染土壌対策について

- ・ 廃油入りドラム缶が投棄されたN地区において、揮発性有機化合物（VOC）が検出されたため浄化を実施中。
- ・ 前回の協議会以降、7月に貯水池を設置し、西側高濃度区画の洗い出しを強化。
- ・ 地下水調査結果について、平成27年10月は6区画の基準超過であった。
- ・ キャッピングシートを撤去した平成25年度以降、地下水とともに汚染物質が東側から西側に移動している状況と推定。
- ・ 汚染が残留している西側において、d-1区画が高濃度で推移しているが、a-1、c-1、c-4区画では濃度が低下傾向。
- ・ 今後の対応としては、全体の洗い出しを継続しながら、西側の高濃度区画において、汚染土壌対策技術検討委員会の助言を得ながら、掘削除去等の対策を実施する。

### 4 環境モニタリング結果について

- ・ 1,4-ジオキサンについて、9月に6地点で基準超過があり、最大値はイ-15の0.21mg/L（基準の4.2倍）。平成25年度以降、全体的な濃度は低下傾向。
- ・ 重金属類について、イ-6の砒素、イ-9及びイ-18の総水銀で基準超過。
- ・ VOCについて、イ-20及びイ-21の複数物質、イ-15の塩化ビニルモノマーが基準超過。
- ・ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素について、これまでと同様に複数地点で基準超過。
- ・ その他項目について、基準超過なし。

### 5 その他

- ・ 跡地活用について、市民の意見を聞くためのフォーラムを平成28年1月下旬に開催予定（二戸市事業）。
- ・ 次回（第66回）原状回復対策協議会は平成28年3月19日（土）に実施予定。